

愛知民報

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12 番 25 号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400 円 郵送料 164 円 1 部 100 円
毎週日曜日発行 (第 5 日曜日は休刊)
1966 年 7 月 31 日第三種郵便物認可

週刊
愛知民報を
周りの人に

平成二十八年五月

日本会議 愛知県本部
〒464-0836
愛知県名古屋市中区千種区菊坂町3-5-302
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp
TEL:052-763-4678
FAX:052-763-4588

日本会議
愛知

憲法改正を考える自由民主党愛知県議員連盟発足

三十三日愛知県庁におきまして、憲法改正を考える自由民主党愛知県議員連盟発足し、憲法改正を考える議員連盟の設立総会が開催されました。
会場には、直江弘文県会議長(港区九期)にご就任頂き、副会長には水野富夫県議員(清須市、北名古屋市、西春日井郡、九期)を筆頭、県内各地の実力者を配する強力な布陣での参加となりました。自民党に所属する全ての議員が参加するという素晴らしい立ち上がりです。
自民党の議員連盟は県議会内には存在しますが、議員入会している

演台にお座りの発起人は、写真左から坂田憲治県議、水野富夫県議、直江弘文県議、神野博史県議団長、小生

302

自民党愛知県議団
丸ごと改憲議連
日本会議 後押し

〈写真右〉自民党愛知県議団の改憲議連発足を伝える日本会議愛知県本部機関紙『あいち通信』(2016年5月)
〈写真左〉日本会議愛知県本部の所在地。賃貸マンションの1室で表札・看板はない= 2 日、名古屋市中種区

自民党国会議員の議連所属

※日本＝日本会議国会議員懇談会、神道＝神道政治連盟国会議員懇談会、靖国＝みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会

議員名	選挙区	日本	神道	靖国
熊田裕通	衆院愛知1区	○		○
工藤彰三	衆院愛知4区	○	○	○
伊藤忠彦	衆院愛知8区		○	
長坂康正	衆院愛知9区	○	○	○
江崎鉄磨	衆院愛知10区			○
今枝宗一郎	衆院愛知14区	○		
根本幸典	衆院愛知15区	○	○	○
池田佳隆	衆院比例東海	○	○	○
神田憲次	衆院比例東海	○	○	○
鈴木淳司	衆院比例東海	○		○
八木哲也	衆院比例東海			○
青山周平	衆院比例東海	○	○	○
大見 正	衆院比例東海		○	○
酒井庸行	参院愛知選挙区	○	○	○
藤川政人	参院愛知選挙区		○	○

〈出典〉俵義文著『日本会議の全貌―知られざる巨大組織の実態』(花伝社)より

愛知県内の日本会議支部

名古屋、名古屋中、名古屋北、名古屋東部、名古屋西部、春日井、西春日井、瀬戸・尾北、知多、一宮、尾北、西三河

極右組織
今年3月、自民党愛知県議団57名全員が加入する「憲法改正を考える自由民主党愛知県議員連盟」が発足しました。会長は、日本会議会員の直江弘文県議(名古屋市港区)。愛知県議会初の改憲議連の立ち上げを主導したのが日本会議です。
「安倍政権を支える極右組織」とされる日本会議の最大の運動テーマは憲法「改正」。天皇元首化、軍隊保持、家族主義、緊急事態条項など、自民党改憲草案と同じ基調です。
地方議員や地域支部の改憲街頭宣伝、改憲啓発DVDの県内全市町村上映、女性向けの「憲法おしゃべりカフェ」開催など、「九条の会」に対抗する「草の根改憲運動」を展開しています。
日本会議愛知県本部は、改憲推進1000万賛同署名の愛知県目標30万人を突破したと、今年4月25日に発表しています。
議員拡大
安倍内閣の主要閣僚は日本会議のメンバー。平和・民主の現行憲法を敵視する極右内閣です。
自民党愛知県連会長の藤川政人参院議員は、自民党改憲草案の起草委員のひとりです。

反動化
名古屋市議会の日本会議議員グループは、河村たかし名古屋市長の南京大虐殺否定発言の援護や侵略戦争肯定の歴史教科書採択に動きました。
県内自治体議会の日本会議議員や右派議員は、日本会議支部などの右翼組織の請願・陳情活動と連携し、議会議場への日の丸掲揚、

参院選で、戦争法廃止・立憲主義回復・安倍改憲阻止をめざす画期的な野党共闘が前進しました。一方、安倍政権側は「改憲かくし」に終始し、改憲発議に必要な3分の2の議席をえました。参院選後、日本を「戦争する国」につくり変える安倍改憲を阻止する県民のたたかいが新たな緊迫した段階を迎えています。愛知県内の「9条の会」は学習交流会をおこないました。改憲側はどうか。安倍改憲路線を推進する「日本会議」の愛知の動きを見てみます。

緊迫の段階
戦争か平和か、独裁政治か立憲政治か。憲法をめぐるたたかいは、緊迫した重大段階を迎えています。

「9条の会」運動強化へ

愛知県内の地域・職域・分野別の「9条の会」の学習交流会が7月23日名古屋市内でおこなわれました。
本秀紀名古屋大学教授が「参院選後の憲法をめぐる情勢について」と題して講演。自民党改憲草案について「本質は、廃憲。何でもありの安倍政治を甘く見てはならない」と警告しました(写真)。



元号使用の強制、侵略戦争肯定・美化の歴史教科書の採択、偏狭な愛国心教育を主張しています。
県議会(定数102)の過半数を占める自民党県議団全員が加入する改憲議員連盟ができ、参院選後の憲法をめぐる情勢についてと題して講演。自民党改憲草案について「本質は、廃憲。何でもありの安倍政治を甘く見てはならない」と警告しました(写真)。